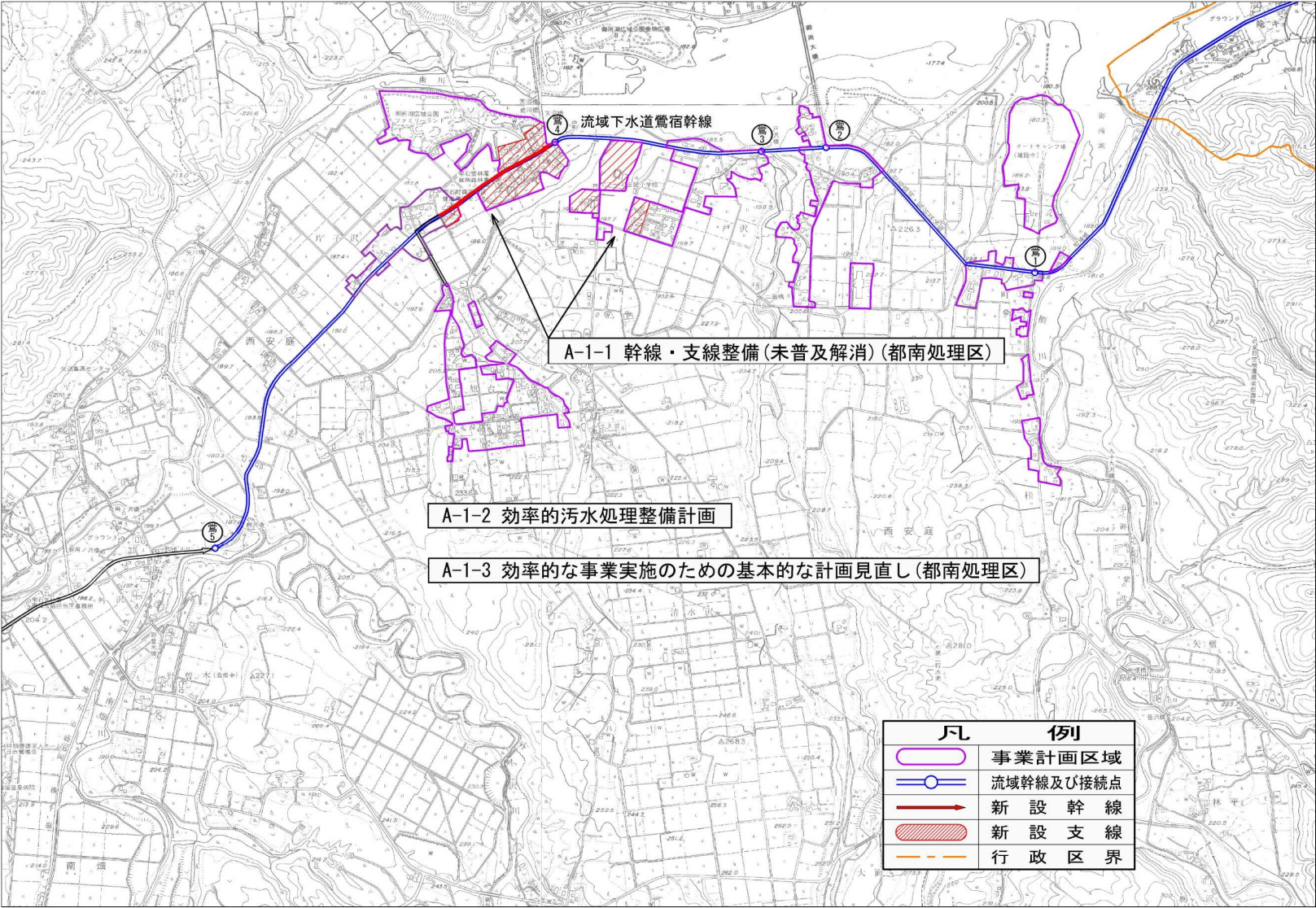


	H27	H28	H29	H30	H31
配分額(a)	45,200	42,000			
計画別流用増△減額(b)	△ 17,000	0.000			
交付額(c=a+b)	28,200	42,000			
前年度からの繰越額(d)	0.000	0.000			
支払済額(e)	28,200	13,000			
翌年度繰越額(f)	0.000	29,000			
うち未契約繰越額(g)	0.000	0.000			
不用額(h = c+d-e-f)	0.000	0.000			
未契約繰越＋不用率(h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) (参考図面)

計画の名称	雫石町における快適な暮らしの実現、良好な水環境の形成		
計画の期間	平成27年度～平成29年度(3年間)	交付対象	雫石町

都南処理区



社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業タイプ)

計画の名称: 雲石町における快適な暮らしの実現、良好な水環境の形成

市町村名: 雲石町

チェック欄

I. 目標の妥当性

①上位計画との適合等

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 都道府県構想(見直し予定を含む)に適合している。 | ○ |
| 2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。(流域関連公共下水道のみ) | ○ |
| 3) 市町村独自の下水道整備計画と整合性が確保されている。 | ○ |

②目標値および内容の妥当性

- | | |
|--|---|
| 1) 計画人口は適正な数値となっている。(人口普及率等を目標とした場合) | ○ |
| 2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。
該当するものに○
◎ 施設の長寿命化対策 ・ 浸水対策 ・ 汚泥処理施設
・ 合流改善 ・ 処理場の増設 ・ 地震対策 | — |

II. 整備計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 | ○ |
| 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 | ○ |
| 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。 | ○ |
| 4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。 | ○ |
| 5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。 | ○ |

④事業の効果

- | | |
|--|---|
| 1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。 | ○ |
| 2) 河川等の水質改善に効果がある。 | ○ |
| 3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。 | — |

III. 整備計画の実現可能性

⑤計画の具体性

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画になっている。 | ○ |
| 2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画になっている。 | ○ |
| 3) 継続的な汚水処理(雨水処理)の展開が見込まれる。 | ○ |
| 4) 地域の実状に応じた計画になっている。 | ○ |

⑥円滑な事業執行の環境

- | | |
|-------------------------|---|
| 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。 | ○ |
| 2) 事業実施のための環境整備が図られている。 | ○ |
| 3) 下水道法の事業認可を取得している。 | ○ |